



Oracle® Data Relationship Management

リリース 11.1.2.3.000

Readme

ORACLE
ENTERPRISE PERFORMANCE
MANAGEMENT SYSTEM

目次

目的	2
このリリースでの新機能	2
インストール情報	2
サポートされているプラットフォーム	2
サポートされている言語	3
サポートされているこのリリースへのパス	3
このリリースで修正された問題	3
既知の問題	4
ドキュメントの更新事項	6
ドキュメントについてのご意見	6
アクセシビリティの考慮事項	7

目的

このドキュメントには、Oracle Data Relationship Management のこのリリースに関する重要な最新情報が含まれています。Data Relationship Management をインストールする前に、この README をよくお読みください。

特別な注意点

Data Relationship Management のドキュメントは、次の製品のドキュメントとして利用できます。

- Oracle Data Relationship Steward
- Oracle Data Relationship Management for Oracle Hyperion Enterprise Planning Suite
- Oracle Data Relationship Management for Oracle Hyperion Financial Close Suite
- Oracle Data Relationship Management Read Only Access
- Oracle Data Relationship Governance

このリリースでの新機能

Oracle Data Relationship Management New Features を参照してください。インストール、アーキテクチャおよび配置の変更に関連したこのリリースの新機能については、Oracle Enterprise Performance Management System Readme の新機能に関する項を参照してください。

インストール情報

Data Relationship Management のインストール手順は、Oracle Data Relationship Management Installation Guide に記載されています。Oracle Enterprise Performance Management System 製品のインストールに関する最新情報は、Oracle Enterprise Performance Management System Installation and Configuration Readme に説明されています。Data Relationship Management および EPM System 製品をインストールする前に、この情報をよくお読みください。

サポートされているプラットフォーム

EPM System 製品のシステム要件およびサポートされているプラットフォームに関する情報は、Oracle Enterprise Performance Management System Certification Matrix でスプレッドシートの形式で入手できます。このマトリックスは、Oracle Technology Network (OTN) の「Oracle Fusion Middleware Supported System Configurations」ページに掲載されています:

<http://www.oracle.com/technetwork/middleware/ias/downloads/fusion-certification-100350.html>

サポートされている言語

EPM System 製品でサポートされている言語に関する情報は、Oracle Enterprise Performance Management System Certification Matrix の「Translation Support」タブでスプレッドシートの形式で入手できます。このマトリックスは、OTN の「Oracle Fusion Middleware Supported System Configurations」 ページに掲載されています:

<http://www.oracle.com/technetwork/middleware/ias/downloads/fusion-certification-100350.html>

サポートされているこのリリースへのパス

EPM System は、次のリリースからリリース 11.1.2.3 にアップグレードできます:

注意: アップグレードの手順は、Oracle Data Relationship Management Installation Guide の Data Relationship Management インストールのアップグレードに関する項、および Oracle Enterprise Performance Management System Installation and Configuration Guide の EPM システム製品のアップグレードに関する項を参照してください。

表 1 サポートされるアップグレード・パス

リリース・アップグレード・パスのリリース: 元	リリース 11.1.2.3 へ
11.1.2.x	リリース 11.1.2.3 へのメンテナンス・リリースを適用します。
11.1.1.4.x	リリース 11.1.2.3 にアップグレードします。
リリース 11.1.1.0.x から 11.1.1.3.x	リリース 11.1.1.4 へのメンテナンス・リリースを適用してからリリース 11.1.2.3 にアップグレードします。
リリース 9.3.3.x	リリース 11.1.2.2 にアップグレードしてからリリース 11.1.2.3 へのメンテナンス・リリースを適用します。
複数のリリースが含まれている環境。1 つの Oracle Hyperion Shared Services のインスタンスが含まれている環境、または 2 つの Oracle Hyperion Shared Services のインスタンスが含まれている環境	Oracle Enterprise Performance Management System Installation and Configuration Guide の EPM システム製品のアップグレードの章に記載されている、複数リリース環境からのアップグレードに関する説明を参照してください。

このリリースで修正された問題

リリース 11.1.2.0、11.1.2.1 または 11.1.2.2 からアップグレードする場合は、問題修正検索ツールを使用して、それらのリリースとリリース 11.1.2.3 の間で修正された問題のリストを確認してください。このツールはこちらにあります:

<https://support.oracle.com/oip/faces/secure/km/DocumentDisplay.jspx?id=1292603.1>

- 14359677 -- お客様から、オブジェクト・アクセス・グループを使用してユーザー・メタデータ・オブジェクトへのアクセスを制御するようリクエストされています。

- 14571598 -- バッチ・クライアントを使用してエクスポートを実行した後、そのバージョンはロードされていないというエラーが表示されます。
- 14580505 -- 階層をデータベースにエクスポートする際、「キーに基づいて重複を除去」オプションが機能しません。
- 14622964 -- OLEDB プロバイダを使用した DB2 データベースへの外部接続で、DDL が正確に読み取られません。
- 14685568 -- Oracle バルク・コピー中、リーダー・エラーが文字列フォーマット・エラーによって不明瞭になります。
- 14750635 -- 階層エクスポートの「ソース」タブで上下矢印ボタンが機能しません。
- 14798082 -- FormattedDate 関数を使用してプロパティを評価する際に、エラーや警告が表示されません。
- 14850588 -- ノード・アクセス・グループが特殊文字を含むグループ名で作成され、そのグループがユーザーに割り当てられている場合、保存時に「索引が配列の範囲外でした」というエラーが表示されます。
- 15879348 -- タイミングの問題が発生した場合も別のアクティブ・マシンが検出された場合も、RW エンジンから同じエラー・メッセージが返されます。
- 16019705 -- タイム・ゾーンが南半球に設定されている場合、匿名ログインを使用できません。
- 16056708 -- バッチ・クライアントがバージョン変数を参照できません。
- 16099162 -- データベース・エクスポート列のサイズを編集できません。
- 16317879 -- お客様がデータベースからインポートする機能を必要としています。
- 16416827 -- メンバー名に含まれるカレット記号が正しく表示されません。
- 16440333 -- データベース・テーブルへのエクスポート時に次のエラーが表示されます: ORACLEPARAMETER はすでにコレクションに存在します。

既知の問題

このリリースで注意が必要な既知の問題は次のとおりです:

- 16551101 -- 日本語では認証設定が認識されません。
- 16542093 -- Internet Explorer で、新しい要求の非 ASCII バージョンを追加する際にエラー drm-14063 が表示されます。
- 16528765 -- ワークリストおよび要求のインスタンス・ページから要求にアクセスすると、利用中の Oracle DB プロセスの数が増加し続けます。
- 16311457 -- 異なるロケールでインポートとエクスポートを実行する際に、数値および日付のフォーマットの問題が発生します。
- 16300255 -- 移行のロードでは非 ASCII 文字を含む ANSI ファイルがサポートされません。この問題を回避するには、移行ファイルを常に UTF-8 でエンコードする必要があります。

- 16227142 -- ヨーロッパ言語の文字が電子メール通知で文字化けします。
- 16189206 -- メタデータの抽出時に非 ASCII のオブジェクト・アクセス・グループを開けません。
- 16020949 -- 新規インポートの場合、バージョンが選択されていなくても、バージョンが列セクションのデフォルト値になります。
- 14606340 -- 動的スクリプト機能では、参照されるオブジェクトの依存関係チェックを使用できません。
- 13889243 -- コア子リストおよび子孫リストのプロパティで最初の 100 エントリのみが返されます。
- 13789734 -- ノード・タイプのプロパティ検索で、存在するノードに対して「指定したノードが見つかりません。」というエラーが表示されます。
- 12658032 -- カッコが一致していない場合に、Oracle Data Relationship Management の Equals()関数で正しく評価されません。
- 11905795 -- Web サービスを通じて Java アプリケーションからのクエリーを処理しようとするとうエラーが発生します。

Java Web サービスに提供するためにオブジェクトを SOAP として直列化しようとするとう、drm-api-adapter でこの問題が発生します。この問題を回避するには、drm-api-adapter.exe.config ファイルの<system.serviceModel>セクションを編集します。

<behaviors>の<endpointBehaviors>で新しい動作を追加します:

```
<behavior name="httpBehavior">
<dataContractSerializer maxItemsInObjectGraph="2147483647"/>
</behavior>
```

behaviorConfiguration="httpBehavior"属性を追加して、<services>の<service name="Oracle.Drm.APIAdapter" ...>に存在するすべての http エンドポイントにこの新しい httpBehavior を適用します。

例:

```
<endpoint address = "Automator" name="IAutomatorMgr"
binding="basicHttpBinding"
bindingConfiguration="basicHttpConfiguration"
contract = "Oracle.Drm.Interfaces.IAutomator"
bindingNamespace="http://www.oracle.com/drm/" />
```

これは次のようになります:

```
<endpoint address = "Automator" name="IAutomatorMgr"
binding="basicHttpBinding" behaviorConfiguration="httpBehavior"
bindingConfiguration="basicHttpConfiguration" contract =
"Oracle.Drm.Interfaces.IAutomator"
bindingNamespace="http://www.oracle.com/drm/" />
```

この属性は、すべての endpoint 要素に挿入する必要があります。

- 11668780 -- アップグレード後に、時点バージョンを含む Translog エクスポートのバージョン・タイプを表示する方法がありません。
- 10648984 -- データベース名に@記号が含まれていると、コンソールに「データベースは存在しません」というエラーが表示されます
- 10648889 -- データベース名にドット演算子が含まれるとコンソールに操作が失敗したというエラーが表示されます。
- 10647639 -- アップグレード後、管理者パスワードが構成中に入力した値にリセットされません。

ドキュメントの更新事項

EPM System 製品ドキュメントへのアクセス

各 EPM System 製品ガイドの最新版は、OTN Web サイトの「EPM System Documentation」領域(<http://www.oracle.com/technology/documentation/epm.html>)からダウンロードまたは表示できます。ドキュメントに簡単にアクセスするには、EPM Supported Platform Matrics、My Oracle Support、およびその他の情報へのリンクも含まれている Oracle Enterprise Performance Management System Documentation Portal (<http://www.oracle.com/us/solutions/ent-performance-bi/technical-information-147174.html>)を使用できます。

配置関連のドキュメントは、Oracle Software Delivery Cloud Web サイト(http://edelivery.oracle.com/EPD/WelcomePage/get_form)からも入手できます。

個別の製品ガイドは、Oracle Technology Network Web サイトからのみダウンロードできます。

PDF からのコード・スニペットのコピーと貼付け

PDF ファイルからコード・スニペットを切り取って貼り付ける際、貼付け操作時に一部の文字が失われる場合があります、これによりコード・スニペットが無効になります。回避策: コード・スニペットを HTML バージョンのドキュメントから切り取って貼り付けます。

ドキュメントについてのご意見

製品ドキュメントについてのご意見は、次の電子メール・アドレスまでお寄せください:

EPMdoc_ww@oracle.com

次のソーシャル・メディア・サイトで EPM Information Development をフォローしてください:

- YouTube - <http://www.youtube.com/user/OracleEPMWebcasts>

- Google+ - <https://plus.google.com/106915048672979407731>
- Twitter - <https://twitter.com/HyperionEPMInfo>
- Facebook - <https://www.facebook.com/pages/Hyperion-EPM-Info/102682103112642>
- Linked In - http://www.linkedin.com/groups?home=&gid=3127051&trk=anet_ug_hm

アクセシビリティの考慮事項

この Readme ファイルは HTML フォーマットでアクセスできます。

著作権情報

Data Relationship Management Readme, 11.1.2.3.000

Copyright © 2013, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

著者: EPM 情報開発チーム

Oracle および Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS:

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション（人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む）への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（redundancy）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことに起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。